

(様式1)

令和 年度 事業系一般廃棄物の減量及び適正処理に関する計画書

令和 年 月 日

(あて先) 仙台市長

住所 (〒)

氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)

電話 () -

仙台市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第13条第1項の規定に基づき、事業系一般廃棄物の減量及び適正処理に関する計画書を作成(変更)したので、次のとおり提出します。

管理番号	(事業用大規模建築物 ・ 多量排出事業者) どちらかに○印を		
建築物の所在地			
建築物の名称			
事業系一般廃棄物管理責任者	役職・氏名		電話: () -

1 事業系一般廃棄物(ごみ)発生量の見込み ※ごみとして出す計画量を記入してください。

廃棄物(ごみ)の種類	発生量の見込み(t)	処理業者名
① 可燃ごみ		
② 食品廃棄物 ※a		
③		
合計 (A=①+②+③)	(A)	

※a 食品リサイクル法の食品関連事業者(食品メーカー、デパート・スーパー・コンビニ等食品の卸売・小売業者、食堂、レストラン及びホテル・旅館・結婚式場等食事の提供を伴う事業)に該当する場合は、食品廃棄物の量を記入してください。

2 資源化の目標 ※上記1のごみに出さないでリサイクルする計画量を記入してください。

※資源物を売り払う場合は記入しないでください。

資源物の種類	資源化の目標(t)	処理または回収業者名
① コピー用紙 ※上質紙を含む		
② 新聞		
③ 雑誌		
④ 段ボール		
⑤ その他の紙 ※①~④以外の紙類		
⑥ 缶・びん ※自動販売機業者の回収は記載しない		
⑦ ペットボトル ※自動販売機業者の回収は記載しない		
⑧ 食品リサイクル ※b		
⑨		
合計 (B=①~⑨の合計)	(B)	

※b 食品リサイクル法の食品関連事業者に該当する場合は、肥飼料等への再生利用取組量を記入してください。

※ 廃油・発泡スチロールなどの産業廃棄物にあたるものは、記載不要です。

3 資源化目標率

$$B \div (A+B) \times 100 = \boxed{} \%$$

4 建築物の一般的事項

建築物就業人員 名	延床面積 m ²	地上 階、地下 階
事業系一般廃棄物の保管場所	個所	m ²
資源化物の保管場所	個所	m ²

5 建築物の用途 () ※多量排出事業者の場合は「⑧その他」に業種を記入してください。

下記から選んで、() 内に番号を記入してください。⑧その他の場合は、下記⑧の () 内に用途を記入してください。

①事務所 ②銀行 ③ホテル・旅館 ④百貨店 ⑤店舗・スーパー
⑥学校 ⑦複合用途
※⑧その他

[]

建築物の用途が上記⑦の場合、用途別のテナント数及び延床面積 ※具体的なテナント事業については別記様式に記入のうえ本計画書に添付すること。	事務所 (社 m ²)
	飲食店 (社 m ²)
	小売業 (社 m ²)
	() (社 m ²)
	() (社 m ²)
	() (社 m ²)

6 事業系一般廃棄物の分別・処理方法及び資源化の方策

[]

